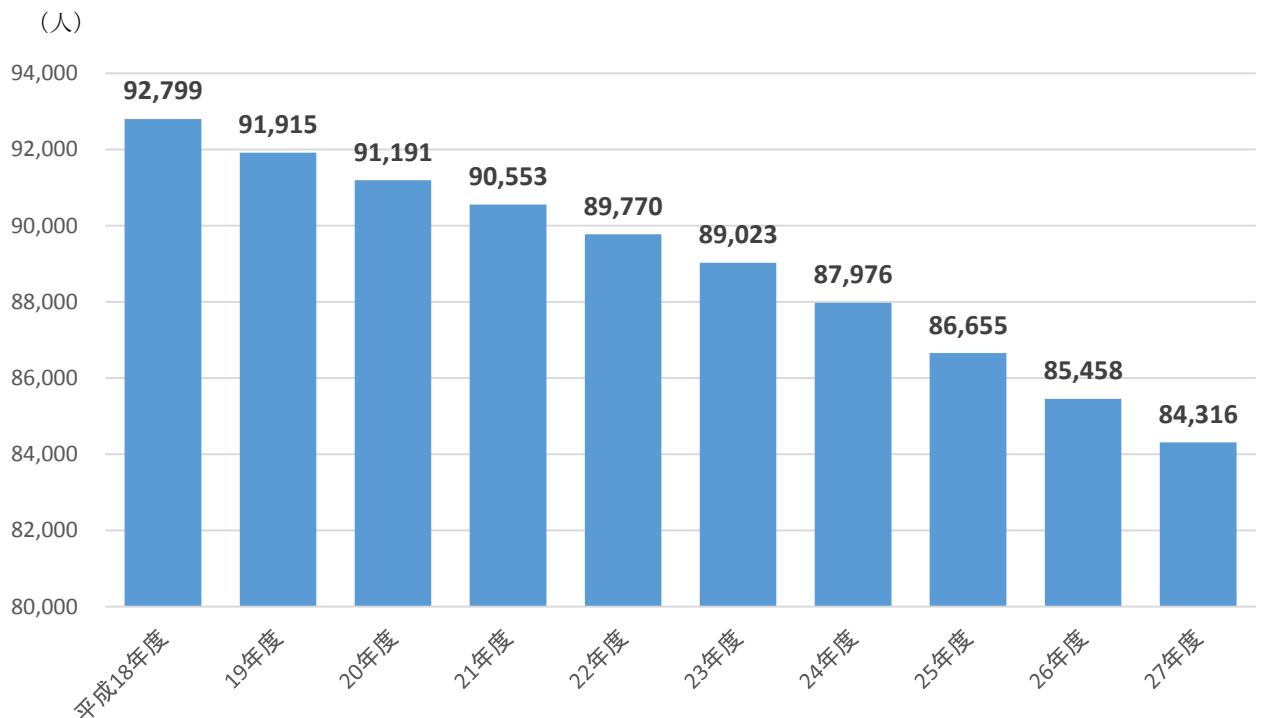


1 岩見沢市の概況

(1) 人口

岩見沢市の平成28年3月31日現在の人口は84,316人で、近年、減少を続けており、市町村合併後の平成18年から平成27年までの10年間に8,483人減少しています。

図表1-1-1 人口の推移



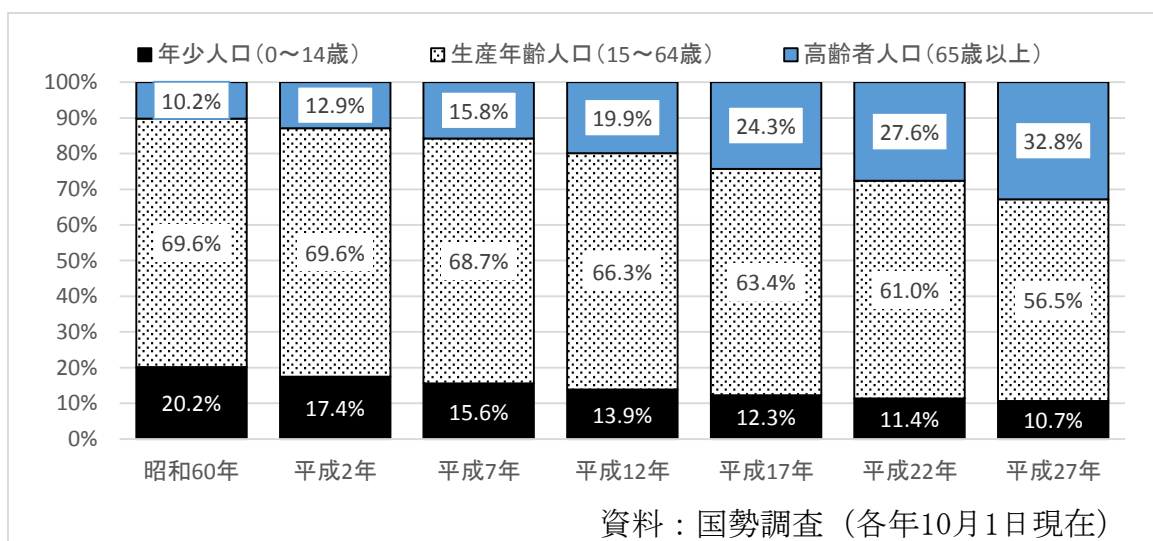
資料：住民基本台帳（各年度3月31日現在）

(2) 年齢構成

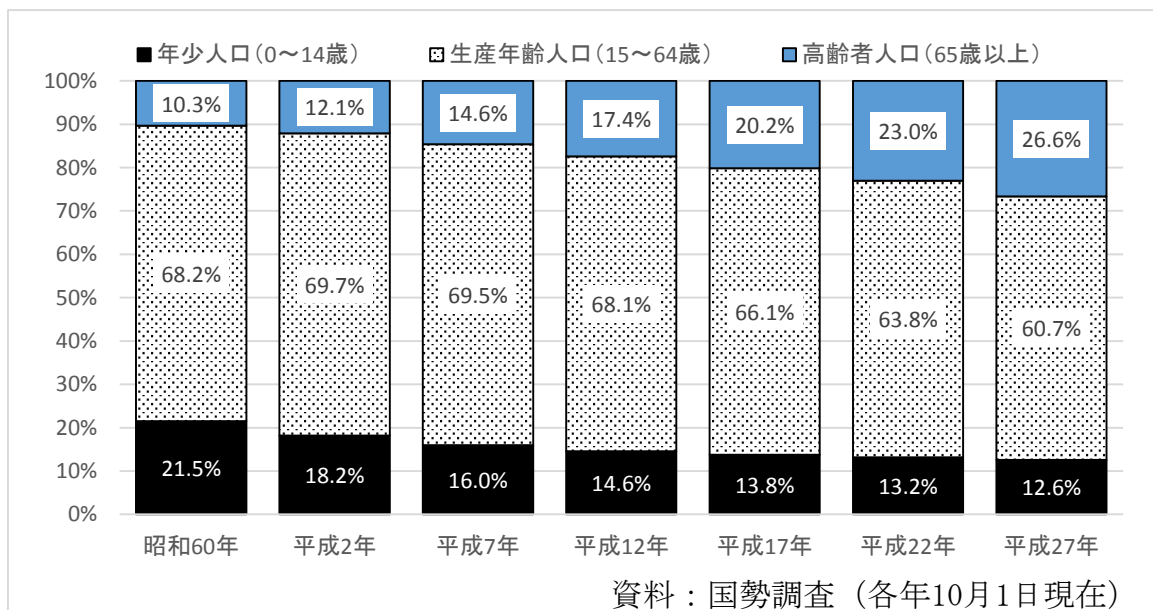
年齢階層別の人口を全国の状況と比較してみると、平成27年では、高齢者人口の割合は、全国の26.6%よりも6.2ポイント高く、年少人口の割合は、全国の12.6%よりも1.9ポイント低くなっています。

高齢者人口割合、年少人口割合からみると、岩見沢市は全国平均より高齢化が進んでいるまちであるということがうかがえます。

図表 1－1－2 年齢階層別人口割合の推移（岩見沢市）



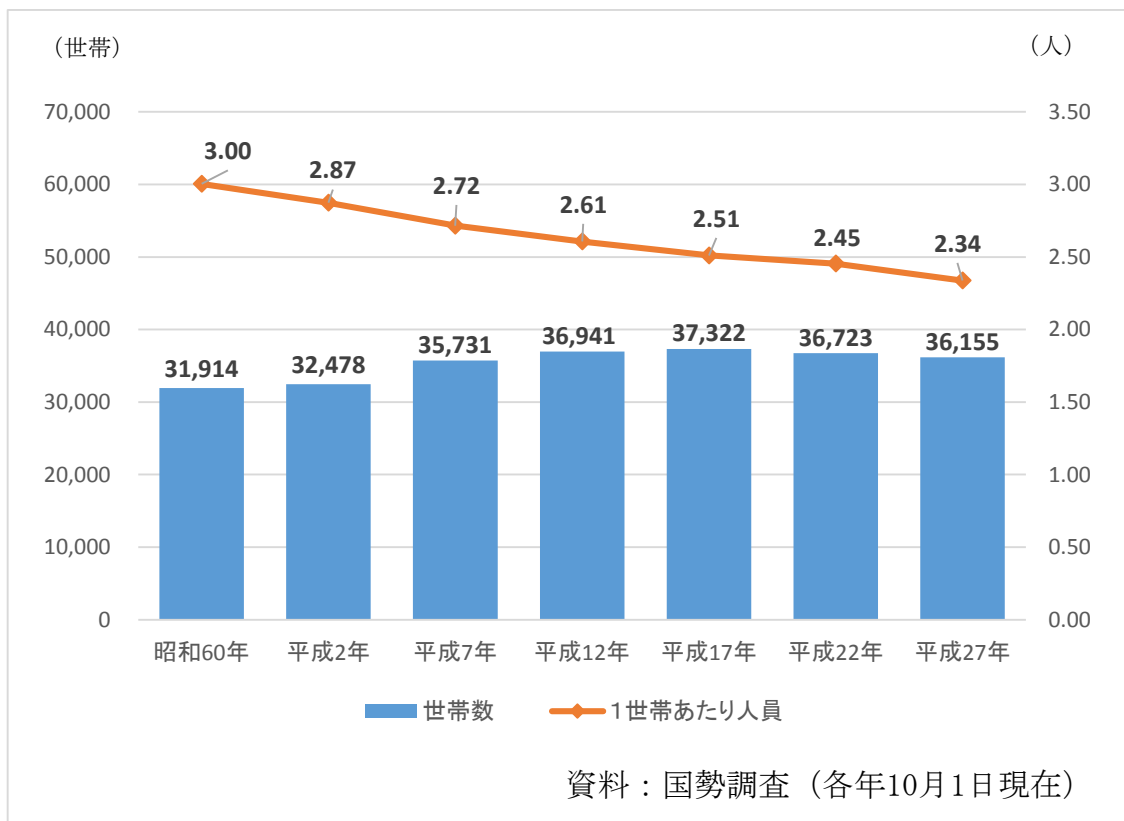
図表 1－1－3 年齢階層別人口割合の推移（全国）



(3) 世帯数

世帯数は、昭和60年には31,914世帯だったものが、平成27年には36,155世帯となり、4,241世帯増加しています。しかしながら、1世帯あたり人員は3.00人から2.34人へと低下し、一人暮らし世帯、核家族世帯等が増えていることがうかがえます。

図表 1－1－4 世帯数及び1世帯あたり人員

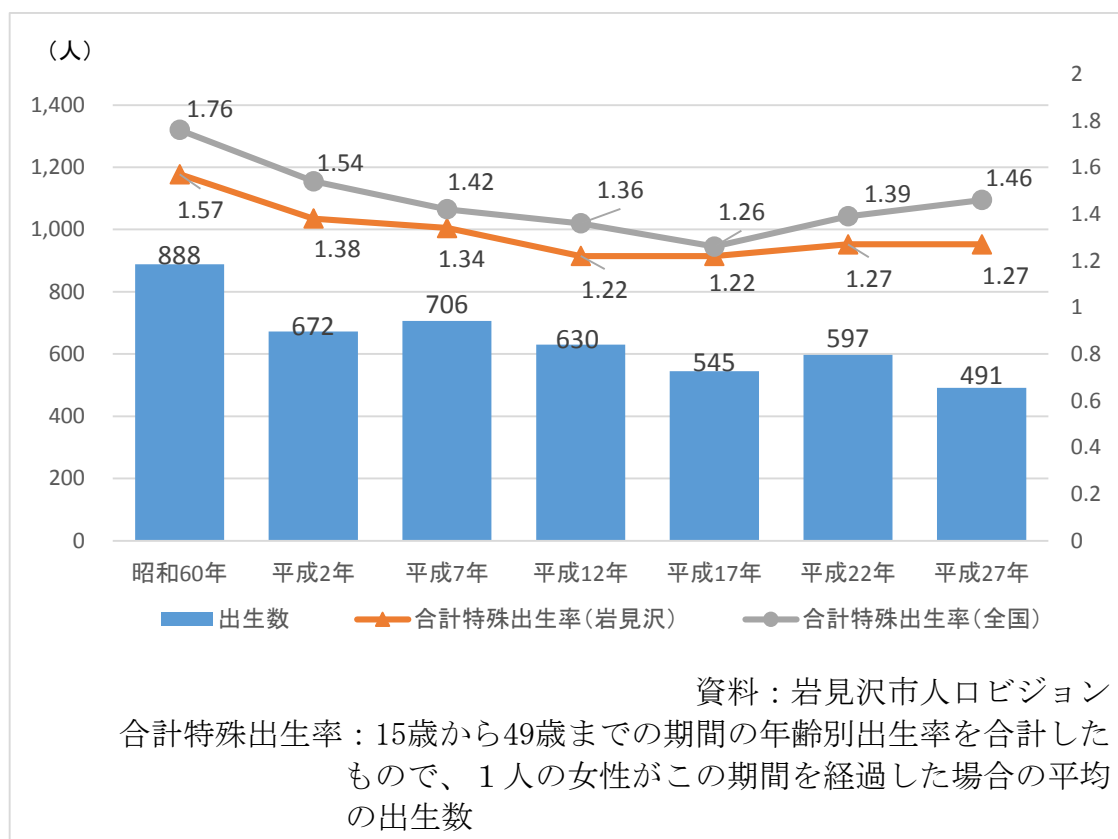


(4) 出生数及び合計特殊出生率

出生数は、昭和60年に888人だったものが、平成27年には491人となり、397人減少しています。

また、出生率を全国の状況と比較してみると、各年とも低く、平成27年では、全国の1.46よりも0.19ポイント低くなっています。

図表1-1-5 出生数及び合計特殊出生率

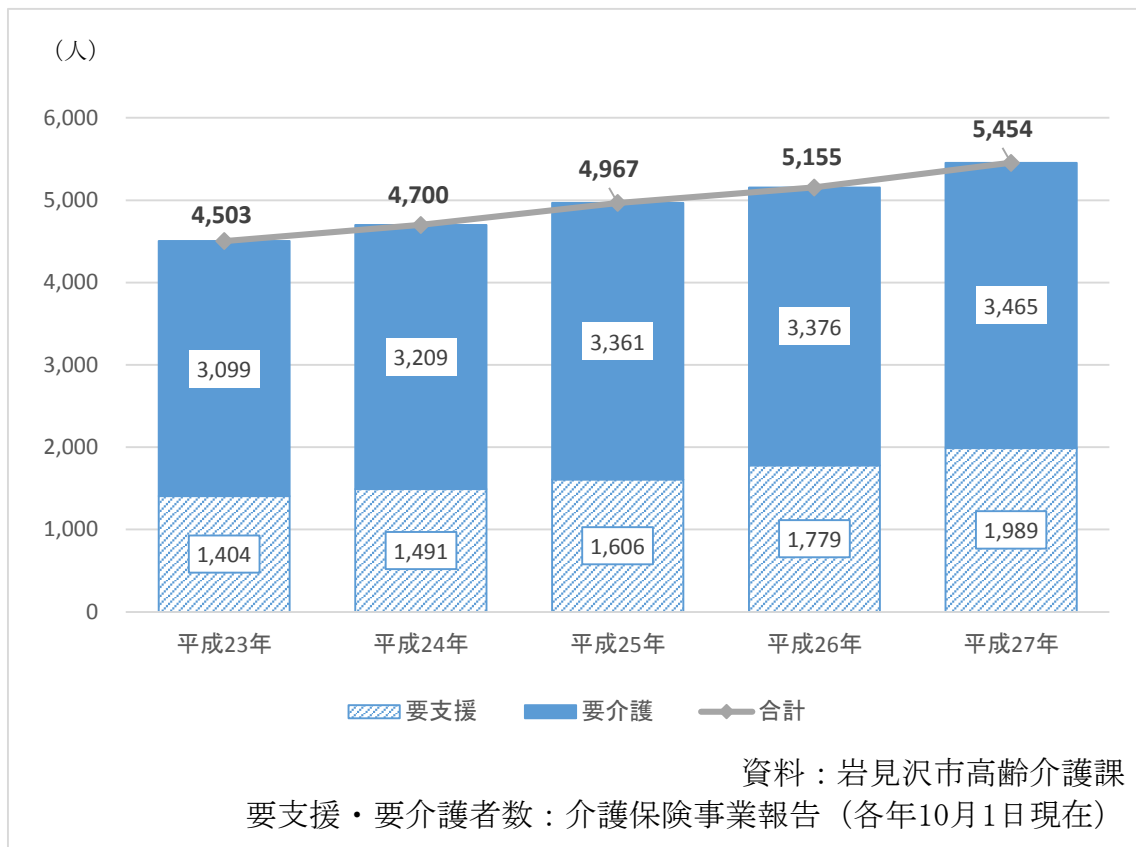


(5) 要支援・要介護者

高齢者の増加に伴い、介護保険制度における要支援・要介護者数も年々増加しています。

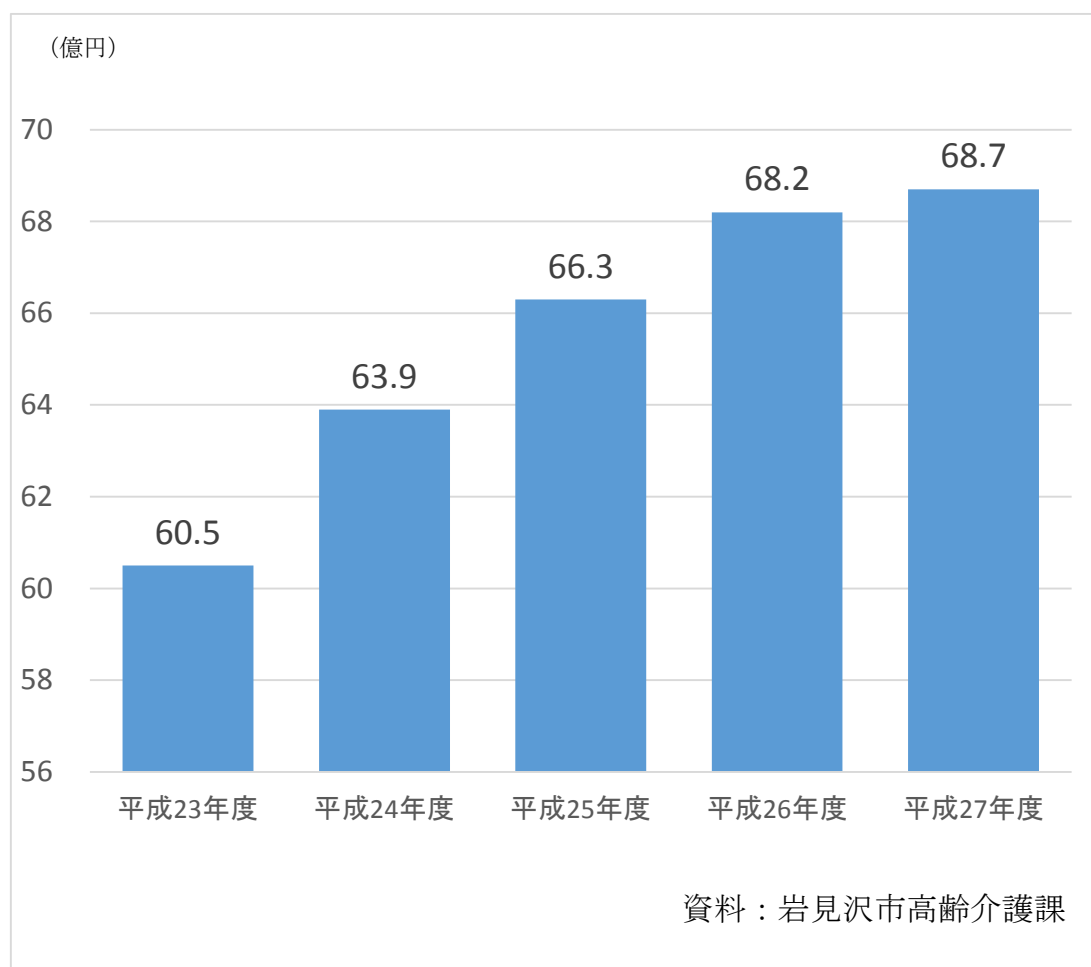
要支援・要介護者数は、平成23年には4,503人だったものが、平成27年には5,454人と、951人増加しています。

図表1-1-6 要支援・要介護者数の推移



また、要支援・要介護者の増加に伴い、介護保険サービスにかかる介護給付費は年々増加しています。平成23年には、60.5億円であったのが、平成27年には、68.7億円となり、8.2億円増加しています。

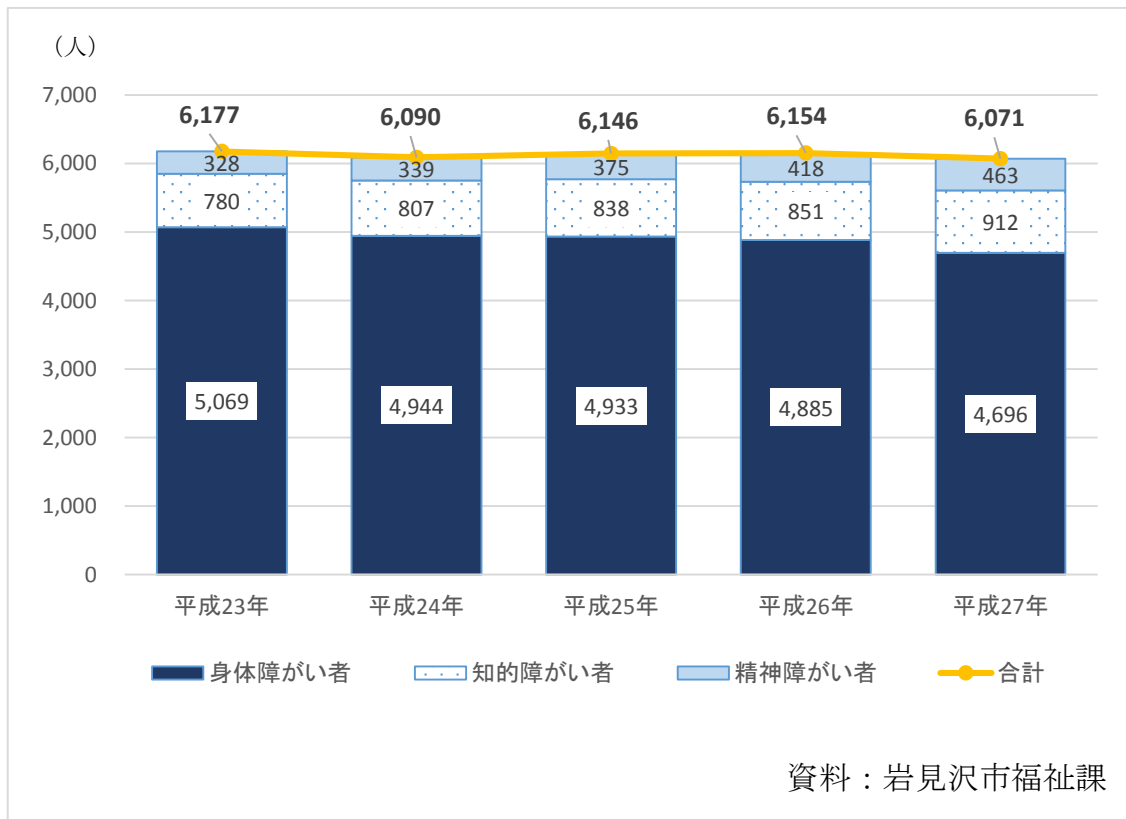
図表 1－1－7 介護給付費の推移



(6) 障がい者

岩見沢市の障がい者数（障害者手帳所持数）は、身体障がい者は減少している一方、知的障がい者、精神障がい者は、年々増加しています。

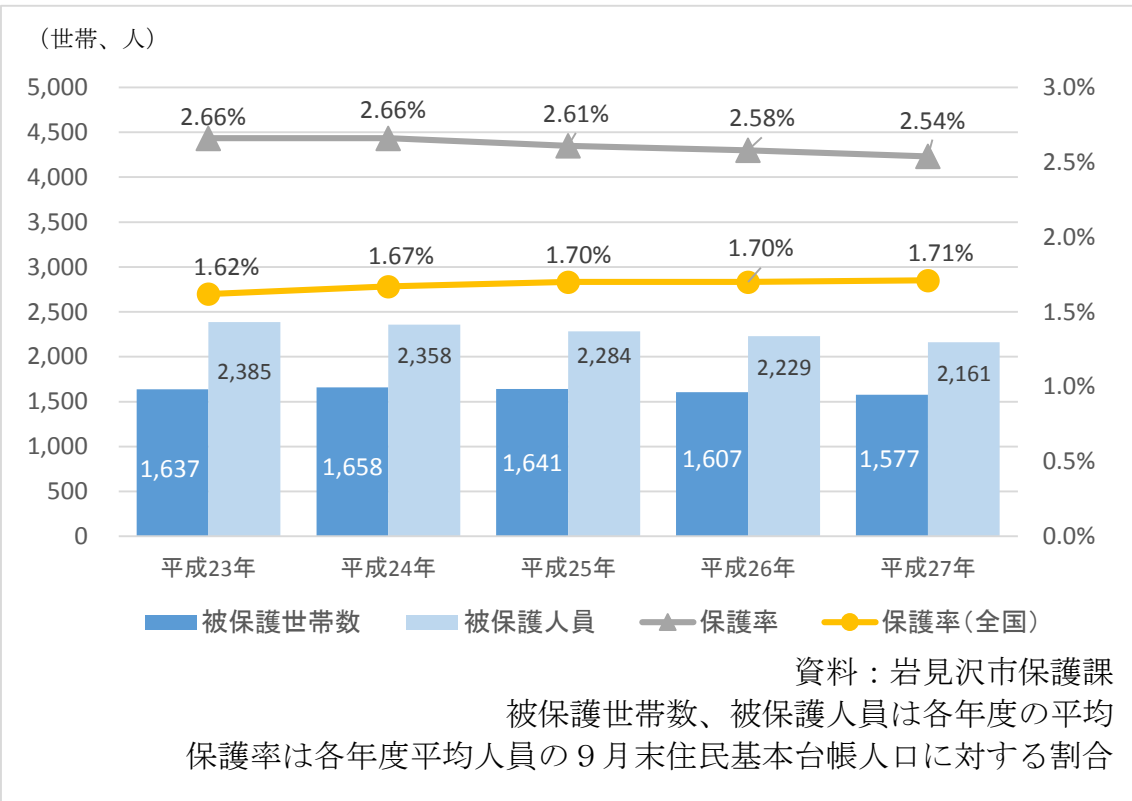
図表 1－1－8 障がい者数の推移



(7) 生活保護受給者

生活保護受給者は、被保護世帯数、被保護人員数共に、年々減少しています。保護率は、平成 23 年に 2.66% だったものが、平成 27 年には 2.54% と 0.12 ポイント低くなっています。

図表 1－1－9 生活保護受給者の推移

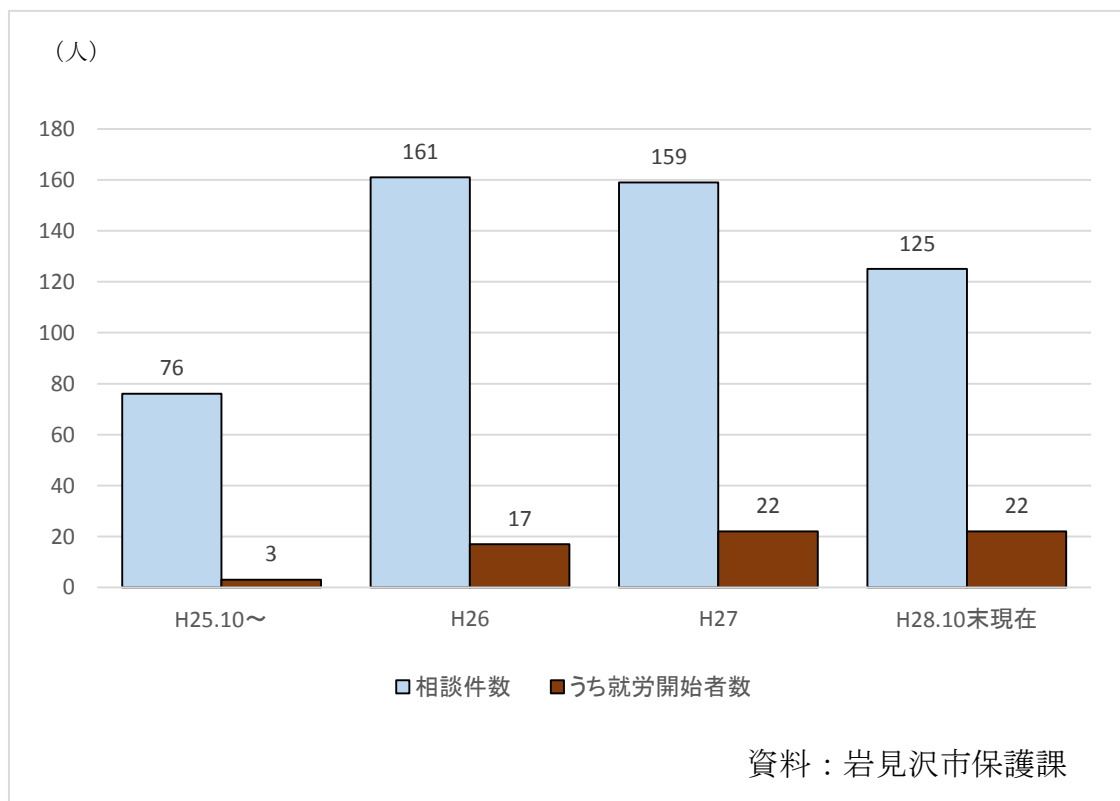


(8) 生活困窮者

平成25年の10月から全国に先駆けてモデル事業自治体として、「岩見沢市生活サポートセンターりんく」を立ち上げて、相談を開始し、平成27年からは生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者自立支援制度の自立相談支援事業として実施している。

相談件数は年々増加している一方で、就労支援の取組みも強化することで少しずつ生活困窮者の自立支援に対する取組みが進んでいることがうかがえます。

図表1-1-10 生活困窮者の相談件数（岩見沢市生活サポートセンターりんく）



(9) 町内会・自治会への加入状況

岩見沢市の町会への加入状況は全世帯の約7割が加入しています。
ただし、町会への加入世帯数、加入割合ともに年々低下しています。

図表 1－1－1 1 町会加入世帯数の推移

